

柳川市監査委員告示第6号

地方自治法第199条第7項の規定に基づく監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を公表します。

平成23年8月5日

柳川市監査委員 松藤 博明
柳川市監査委員 吉田 勝也

平成23年度 財政援助団体監査結果

第1 監査の対象団体及び期間

対象団体	期 間
柳川市クリーン連合会	平成23年 5月16日 ～ 平成23年 6月21日

第2 監査の範囲及び方法

監査は、平成22年度に執行した当該財政援助に係る出納その他事務の執行において、補助事業は事業計画及び交付条件に従って実施され、十分に効果が上げられているか、会計経理に誤りがないか等を主眼とし、関係書類により照合、検査を行うとともに関係職員の説明を聴取して実施した。

第3 監査を実施した監査委員名

松藤博明
吉田勝也

第4 団体の概要

1 設立の趣旨

柳川市クリーン連合会（以下「クリーン連合会」という。）は、合併前の旧柳川市クリーン連合会、旧大和町環境衛生組合、旧三橋町クリーン連合会が、平成17年3月21日の行政の合併に伴い、新しい「柳川市クリーン連合会」として発足し、快適な生活環境を保全するため会員との連携を図り、環境美化、衛生害虫の駆除等、市民の住み良いまちづくりのため、奉仕的立場で地域に貢献することを目的とした団体である。（規約第3条）

2 市との関係

(1) 補助金の交付

平成22年度は、柳川市補助金等交付規則に基づき、クリーン連合会の事業費に対し、柳川市クリーン連合会補助金として15,000,000円を交付している。

(2) 事務局

事務局を生活環境課に置き、市職員が事務を担っている。

3 組織

(1) 会員（規約第4条）

市内の各世帯の代表者

(2) 組織（規約第5条）

クリーン推進員 各行政区原則4名以内

代議員 322名（各行政区1名）

理事 32名

(3) 役員（規約第6条）

会長 1名

副会長 2名

会計 1名

監事 2名

(4) 事務所の位置（規約第2条）

柳川市本町87番地1 柳川市生活環境課内

4 事業の概要について

(1) 財務状況

クリーン連合会の平成22年度の決算は表1のとおりで、収入が21,183,986円、支出が17,237,469円で、収入から支出を差引いた3,946,517円が平成23年度へ繰越されている。

【表1】収入の部

科 目	予算額（円）	決算額（円）	増減額（円）
1.助成金(市補助金)	15,000,000	15,000,000	0
2.衛連助成金	350,000	479,838	129,838
3.負担金	447,500	421,000	26,500
薬剤負担金	377,500	343,000	34,500
リサイクルマーケット参加料	70,000	78,000	8,000
4.寄付金	30,000	54,000	24,000
5.雑入	182,804	150,452	32,352
6.繰越金	5,078,696	5,078,696	0
合 計	21,089,000	21,183,986	94,986

支出の部

科 目	予算額（円）	決算額（円）	予算残額
1.旅費	74,000	66,930	7,070
2.需用費	14,580,000	13,286,929	1,293,071
1 事務局消耗品代	280,000	256,166	23,834
2 会議費消耗品代	80,000	9,500	70,500

3 事業費消耗品代	13,700,000	12,655,390	1,044,610
4 食糧費	70,000	36,698	33,302
5 研修費	450,000	329,175	120,825
3. 役務費	70,000	66,190	3,810
4. 委託料	1,100,000	225,538	874,462
1 会場設営委託料	200,000	62,370	137,630
2 ゴミ処理委託料	900,000	163,168	736,832
5. 使用料及び賃借料	170,000	154,870	15,130
1 車両借上料	131,000	130,200	800
2 会場借上料	39,000	246,770	14,330
6. 備品購入費	1,500,000	1,085,700	414,300
7. 原材料費	1,890,000	1,309,510	580,490
1 山砂代	1,340,000	1,144,920	195,080
2 種子代	250,000	158,300	91,700
3 杭類	300,000	6,290	293,710
8. 負担金及び補助金	1,463,000	1,041,802	421,198
1 消毒機材補助金	760,000	339,407	420,593
2 衛生連合会費	98,000	97,485	515
3 環境健康づくり募金	585,000	584,910	90
4 健康づくり助成金	20,000	20,000	0
9. 予備費	242,000	0	242,000
合 計	21,089,000	17,237,469	3,851,531

差引残額 21,183,986 円 - 17,237,469 円 = 3,946,517 円

(2) 事業実績

事業については、総会において事業計画が決定されている。平成 22 年度に実施した主な事業は次のとおりである。

ア) 不法投棄対策

環境美化活動(ビューティクリーン作戦、リバークリーン運動、一斉清掃等)

・すくい網(294本)・カギ棒(250本)配布 3,638,157 円

・ごみ袋・軍手等 692,608 円

・不法投棄物ごみ処分委託料 163,168 円

不法投棄に対する啓発活動

・のぼり・看板設置 567,000 円

イ) リサイクル推進

リサイクルマーケットの開催

ウ) 衛生害虫駆除

スイングフォッグを使用した衛生害虫駆除活動

- ・油剤(531缶)・乳剤(155缶) 6,218,730円
- ・スイングフォッグ購入費(備品3台) 945,000円
- ・スイングフォッグ購入・修理助成(4行政区) 339,407円

ブロック塀等の穴埋め用山砂配布

- ・山砂配布110行政区 1,144,920円

殺鼠剤の購入助成

- ・申込世帯2,059世帯 288,288円

エ) 啓発活動

環境美化の日及び環境衛生週間期間中、清掃美化活動運動の啓発をすることにより空き缶・空きビン等ポイ捨て防止の推進

犬のフン害防止啓発活動の推進

この他、花いっぱい運動種子代助成、環境美化推進事業花苗代助成、不燃物置場用スプレー缶ガス抜き器、空きビンキャップ取り器の配布等を実施している。

第5 監査の結果

事業は、補助の目的に沿って概ね適正に執行されていたが、一部について下記のとおり是正又は検討を要する事項が認められた。

(1) 会計事務について

会計事務の根拠となる会計規程を設け、適切な会計処理を行われたい。

金銭出納簿が備え付けられていないので、日々の現金の入出金記録を明らかにするためにも、備え付けて記帳をされたい。

福岡県地区衛生連合会から依頼があった「環境・健康づくり募金」を予算から支出されているが、あくまでも募金の依頼であり、これを補助金から支出するのは適切とはいえない。

現金の取扱いに関しては、現金取扱者を明確にし、現金領収書の発行及びその収入について適正な処理に努められたい。また現金保管については、確実な施錠の上の保管など、責任のある管理をされたい。

収入伝票に収入の根拠となる資料が添付されていないものがあるので、納入者及び納入額を明らかにする資料を添付されたい。

(2) 薬剤・物品の管理について

消毒薬剤及び殺鼠剤の配布については、毒性のある薬剤の取扱いであるので、配布日、申込者、配布先(代表者)、配布個数を明確にするとともに、在庫管理に遺漏なきようされたい。

行政区等へ配布するために購入された物品については、受入数、払出数及び在庫数を明確にした管理をなされたい。

(3) その他

公印使用簿及び切手使用簿を備え付け、適切な事務処理を行われたい。

(意見)

以上、監査結果を述べたが、クリーン連合会は、各行政区に代議員 1 名(総数 322 名)及び数名の推進員を置き、また区長会をはじめとする各種団体より 32 名の理事・役員からなる団体であり、一斉清掃やリサイクルマーケット、不法投棄防止対策など市民挙げての活動を継続して行い、市民の環境に対する意識の高揚及び住みよいまちづくりに貢献をされていると認められる。

一方で、クリーン連合会の活動の指標が見えにくく、各種事業に対する明確な基準が設けられていないため、補助団体であるクリーン連合会が他の団体が行う助成事業に参画したり、事業内容において地域間で不均衡を生じたりしている部分が見られる。

このような状況を踏まえ、生活環境課においては、補助金交付の公益性に鑑み、クリーン連合会に対し、事業や事務処理に関する基準の整備について指導を行い、事業成果の検証に努め、さらには補助対象とする事業や経費の特定を図るなど、補助金の適正化を図られたい。また、クリーン連合会においては、クリーン連合会が目指す事業目的を可能な限り明確にし、事業内容について整理・検討を行い、目的に沿った事業の実現と補助金の効果的な活用を切望する。